

第101回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動について

浅間山では、火山活動が次第に低下する傾向が認められ、別紙のとおり統一見解を発表しました。

阿蘇山では、4月14日にごく小規模な噴火が発生し、火山活動が活発な状態になりました。それ以降は噴火の発生もなく、5月上旬以降は火山性連続微動の振幅が小さくなっており、現在はやや活発な状態で経過しています。火口底の一部で赤熱現象が観測されるなど熱的活動は依然活発なことから、今後、火山活動が再び活発化する可能性があります。火山活動の推移に注意する必要があります。

三宅島では、火山活動に全体として大きな変化はなく、二酸化硫黄を含む多量の火山ガスの放出は当分継続すると考えられます。

全国の火山活動状況は以下のとおりです。

1. 北海道地方

1) 雌阿寒岳（比較的静穏な状況）

- ・ポンマチネシリ 9 6－1 火口の温度の低下傾向が継続して認められ、地震は少ない状態で経過しています。火山活動は比較的静穏な状態となっています。

2) 十勝岳（やや活発な状況）

- ・6 2－2 火口は噴煙活動に変化はなく、火口内は高温の状態が続いていると推定されます。火山活動はやや活発な状態で経過しています。火口近傍では注意が必要です。

3) 樽前山（やや活発な状況）

- ・A火口およびB噴気孔群では400℃以上の高温が続いています。火山活動はやや活発な状態で経過しています。火口近傍では注意が必要です。

4) 有珠山（静穏な状況）

- ・火山活動に変化はなく、静穏に経過しています。

5) 北海道駒ヶ岳（静穏な状況）

- ・噴気活動や地震活動に変化はなく、火山活動は静穏に経過しています。
- ・わずかな山体膨張は引き続き観測されています。山頂火口では緩やかな温度上昇や地殻変動にわずかな膨張傾向が認められます。

2. 東北地方

1) 岩手山（静穏な状況）

- ・火山活動に変化はなく、静穏に経過しています。

2) 秋田駒ヶ岳（静穏な状況）

- ・火山活動に変化はなく、静穏に経過しています。

3) 吾妻山（静穏な状況 【火山活動度レベル1】）

- ・火山活動に変化はなく、静穏に経過しています。

4) 安達太良山（静穏な状況）

- ・火山活動に変化はなく、静穏に経過しています。

5) 磐梯山（静穏な状況）

- ・火山活動に変化はなく、静穏に経過しています。

3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

1) 那須岳（静穏な状況）

- ・火山活動に変化はなく、静穏に経過しています。

2) 草津白根山（静穏な状況 【火山活動度レベル1】）

- ・5月に火山性地震が一時的にやや増加し、火山ガスに若干の組成変化や温度上昇が見られましたが、火山活動に大きな変化はなく、静穏に経過しています。

3) 浅間山（やや活発な状況 【本日より火山活動度レベル2】）

- ・別紙のとおり統一見解を発表しました。
- ・当面、昨年9月以降11月迄見られたような爆発的噴火が発生する可能性が低いことから、本日、火山活動度レベルを3から2に引き下げました。

4) 御嶽山（静穏な状況）

- ・火山活動に変化はなく、静穏に経過しています。

5) 富士山（静穏な状況）

- ・火山活動に変化はなく、静穏に経過しています。

6) 伊豆東部火山群（静穏な状況）

- ・3月に火山性地震がやや増加しましたが、火山活動に大きな変化はなく、静穏に経過しています。

7) 伊豆大島（静穏な状況 【火山活動度レベル1】）

- ・長期的な山体の膨張傾向は継続していますが、火山活動に変化はなく、静穏に経過しています。

8) 三宅島（やや活発な状況）

- ・二酸化硫黄放出量は1日あたり2千～5千トンで、依然として多量の火山ガス放出が継続しています。
- ・ごく小規模な噴火が2回（4月、5月それぞれ1回）発生したほか、空振を伴う低周波地震も時々発生しています。
- ・地殻変動の傾向に変化は見られず、浅部での収縮、深部での膨張が続いています。
- ・三宅島では、今後も小規模な噴火が時々発生する可能性はありますが、火山活動には全体として大きな変化はなく、やや活発な状態が継続しています。また、二酸化硫黄を含む多量の火山ガスの放出は当分継続すると考えられます。
- ・今後も局所的に高い二酸化硫黄濃度が観測されることがありますので、風下にあたる地区では引き続き火山ガスに対する警戒が必要です。また、雨による泥流にも注意が必要です。

9) 硫黄島（静穏な状況）

- ・島の中央部の沈降は継続していますが、火山性地震は比較的少ない状態で、火山活動は静穏に経過しています。

4. 九州地方

1) 九重山（静穏な状況 【火山活動度レベル1】）

- ・火山活動に変化はなく、静穏に経過しています。

2) 阿蘇山（やや活発な状況 【現在は火山活動度レベル2】）

- ・4月14日にごく小規模な噴火が発生しましたが、その後は噴火の発生はありません。
- ・火山性連続微動は、噴火後の4月下旬から5月上旬にかけて振幅が増大しましたが、現在は小さい状態で経過しています。
- ・火山ガスは3月頃から増加傾向にありましたが、ごく最近の観測では低下が認められます。
- ・火口底の湯だまり量は減少傾向で、表面温度も高い状態です。また、火口底の一部で赤熱現象が観測されるなど熱的活動は依然活発な状態です。
- ・火口底の湯だまり内では小規模な土砂噴出が引き続き確認されています。
- ・周辺のGPSによる地殻変動観測では、平成16(2004)年後半頃から、地下深部に原因があると推定される、ごくわずかな膨張が認められます。
- ・以上のように、ごく小規模な噴火が発生後、火山活動が一時的に活発な状態になりました。その後は噴火の発生はなく、5月中旬以降火山活動はやや活発な状態にもどっています。
- ・しかし、火口底の一部で赤熱現象が観測されはじめるなど熱的活動は依然活発なことから、今後、火山活動が再び活発化する可能性があります。そのような場合、噴石を火口外に放出するような噴火の可能性があります。火口周辺では注意が必要です。今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

3) 雲仙岳（静穏な状況 【火山活動度レベル1】）

- ・火山活動に変化はなく、静穏に経過しています。

4) 霧島山

新燃岳（静穏な状況 【火山活動度レベル1】）

- ・新燃岳の火山活動は、静穏に経過しています。

御鉢（やや活発な状況 【火山活動度レベル2】）

- ・御鉢の火山性地震・微動は少ない状態ですが、時折火口縁を越える噴気が観測されるなど、火山活動はやや活発な状態で経過しています。
- ・火口内および南側火口縁では注意が必要です。

5) 桜島（比較的静穏な噴火活動 【火山活動度レベル2】）

- ・桜島南岳では噴火が発生していますが、桜島の活動としては比較的静穏な状態で経過しています。
- ・火山性微動及び火山性地震は少ない状態で経過しています。
- ・GPSや水準測量による地殻変動観測では、始良カルデラ(鹿児島湾奥部)の膨張による変化が引き続き観測されています。

6) 薩摩硫黄島（やや活発な状況 【火山活動度レベル2】）

- ・噴火の発生はありませんが、火山性地震は時折やや多い状態になるなど、火山活動はやや活発な状態で経過しています。

7) 口永良部島（やや活発な状況 【火山活動度レベル2】）

- ・火山性地震は1月から3月頃まで増加し、それ以降もやや多い状態で経過しています。
- ・新岳では、噴気活動が2月から活発化し、その後も噴気温度の高い状態が続いていると推定されます。
- ・全磁力観測では、新岳火口付近の熱的活動の高まりを示す変化が継続して観測されています。
- ・地殻変動観測では、新岳火口付近の膨張を示す変化が観測されています。
- ・以上のように、火山活動は**やや活発**な状態で経過しています。新岳火口付近で熱的活動の高まりや膨張傾向が見られることから、今後の活動の推移に注意する必要があります。

8) 諏訪之瀬島（活発な状況 【火山活動度レベル3】）

- ・噴火は時折発生しており、その中で5月30日から6月3日まで爆発的噴火がまとまって発生しました。引き続き火山活動は**活発**な状態で経過しています。

5. 海底火山

1) 福德岡ノ場（やや活発な状況）

変色水が度々観測されており、火山活動は**やや活発**な状態で経過しています。